

令和5年度（相原高等学校）不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上	公務外非行を防止するとともに、職員行動指針を周知し、不祥事発生をゼロにする。	4月に神奈川県職員行動指針、8月に服務規律の遵守、2月にコンプライアンス意識の醸成のテーマで不祥事防止研修会を実施した。服務規律の遵守についての意識啓発を図るとともに、不祥事ゼロに向けた日頃の職場づくりに向けた意識の醸成を図った。
職場のハラスメント（パワハラ、セクハラ、マタハラ等）の防止	職場におけるパワハラ、セクハラ、マタハラ等のハラスメントを防止するとともに不適切な行為防止及び根絶の徹底を図る。	1月に職場のハラスメント防止をテーマに不祥事防止研修会を実施した。日常の職場における関係づくりを通じて、ハラスメントの防止に向けた職場づくりに努めた。
生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	生徒との不適切な関係、部活動やその他における不適切な行為防止の徹底を図る。	5月にSTOP！ザ・セクハラ／わいせつな行為、12月にセクシャルハラスメント実態把握に関する調査結果のテーマで不祥事防止研修会を実施した。風通しの良い職場づくりにより、小さなことから注意喚起し、不祥事の起こらない環境づくりに努めた。また1月には動画による研修資料を活用した研修を行った。
体罰、不適切な指導の防止	体罰、不適切な指導の防止を徹底し、パワー・ハラスメントの発生をゼロにする。	7月に体罰、不適切な指導の防止のテーマで不祥事防止研修会を実施した。日常の生徒指導に関する助方向感により体罰、不適切な指導の防止に努めた。また学校生活に関するアンケートを実施し、いじめの根絶や未然防止に努めた。
入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	定期テストの作成と取扱い、通知表等の作成、成績処理、調査書、推薦書等の書類の作成及び取扱いに係る事故をゼロにする。また、入学者選抜に係る事故をゼロにする。	5月に定期試験・成績処理の事故防止、12月に入学者選抜の事故防止のテーマで不祥事防止研修会を実施した。成績処理の手順や点検に関するマニュアルを整備し、全職員に周知し、事故防止に努めた。また入学者選抜においては、業務や点検の体制を整備し、適切な入学者選抜の体制を確立した。また過去の事例を用いた研修により、事故防止の準備をするとともに疑問に思うことは声を掛け合って対応できる組織作りに努めた。
個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	生徒の個人情報の紛失、漏洩等の不祥事防止を徹底する。特に、重要度の高い電子媒体についてはパスワードの設定を施す、紙媒体については誤廃棄防止のため鍵のかかる什器に保管する等の徹底を図る。	4月に児童・生徒の個人情報の取扱い、9月に個人情報の適切な取扱い、情報セキュリティのテーマで不祥事防止研修会を実施した。個人情報の取扱いに関する意識啓発を行うとともに、日頃より施錠や電子媒体のパスワードによるセキュリティ対策などを行い、管理の徹底に努めた。

交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	交通事故、酒酔い、酒気帯び運転防止、交通法規の遵守等の不祥事発生を根絶する。	11月に飲酒運転等の根絶のテーマで不祥事防止研修会を実施した。交通法規遵守の意識の向上とともに、交通事故防止の徹底に努めた。
業務執行体制の確保等（情報共有、相互チェック体制、業務協力体制）	業務執行における情報共有、相互チェック体制、業務協力体制を徹底し、事故をゼロにする。	3月に風通しの良い職場づくりのテーマで不祥事防止研修会を実施した。日頃から職員間、管理職間、職員と管理職との間で情報共有を密にすることで、不祥事を未然に防ぐことのできる職場づくりに努めた。
財務事務等の適正執行	財務事務等の適正な執行を行う。	財務時調査や会計監査実施後に、調査・監査の結果について職員に周知した。
私費会計事務等の適正執行	私費会計基準に則った適正な会計処理を行う。	10月に適切な私費会計の取扱いのテーマで不祥事防止研修会を実施した。私費会計処理の留意点を確認するとともに、私費の適切な執行に努めた。

○ 令和5年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和6年度に取り組むべき課題
(学校長意見)

本校では、日ごろから朝の職員打合せや職員会議、職員室内での掲示等を通して職員への事故・不祥事防止に係る注意喚起を行うようにしてきた。

校長として、職員一人ひとりに対する声かけや面談を大切にして、風通しのよい職場づくりに努めながら、指導・監督、注意喚起を行ってきた。さらに、毎月の企画会議と共に不祥事防止会議を開催し、不祥事ゼロプログラムに基づきテーマを決めて、職員会議後に副校長が不祥事防止研修会を実施するとともに、神奈川県教育委員会不祥事防止職員啓発資料等を利活用して神奈川県職員としての行動指針の点検を行ってきた。また、こうした定例の取組に加え、県教育委員会からの要請により、今年度はわいせつ・セクハラ行為の防止に関する動画を活用した研修を1月に行っている。

今後とも、事故・不祥事の未然防止のため、必要な注意喚起を怠らず、また、職員への個別の面談等を通じて、事故・不祥事の起こらない環境づくりに努めていく。保護者とも

ちろんのこと、地域住民、県民等に信頼の得られる学校づくりに努めることは言うまでもないことである。

来年度は、今年度の不祥事ゼロプログラムを検証して、課題の抽出を図り、職員の共通認識のもとでより効果的な実践を行う。また、些細な事象が大きな事故や不祥事に繋がる温床になることが多いことを認識して、風通しの良い職場を作り不安要因の払拭にあたる。

以 上